

建築科の魅力を紹介！！

建築科1・2年生に建築科の魅力等についてのアンケートに答えてもらいました。
高校生の生の声を、高校選択の参考にしてください。

1 建築科のどんなところに魅力を感じて入学しましたか？

【1年生】

- ・学んだことを活かしながら、ままごとハウスなど実際に木材を使ってものをつくることができるから
- ・体験セミナーで普通科と比べて、すごく面白くて、魅力を感じたから
- ・建築の専門分野を学び、様々な進路に対応できるカリキュラムであったため

【2年生】

- ・地域とつながり、地域貢献できるところ
- ・他の学校ではできない校門アーチをつくることできる
- ・建築の専門的な勉強を学べ、資格がたくさん取れるところ

小濃 芽依
白数 蒼大
三宅 彩奈

栞原 悠我
小西 未結
吉田 楓



2 建築科に「入学して良かった!!」と思ったことは？

【1年生】

- ・クラスや学校がアットホームな感じで、クラスメイトや先生とも話しやすい
- ・先生方が(建築の知識とか)本当にすごくて、説明が分かりやすいので、毎回授業が楽しいです
- ・“製図”が楽しい。あと、人数が少ない分、違う出身中学校の人とも早く仲良くなれること
- ・普通教科の授業も建築の専門の授業も学べ、部活動にも集中できる環境があること

【2年生】

- ・色々な資格、検定が取得できる(CAD検定、トレース技能検定、計算技術検定 等)
- ・実習が楽しい、専門科目が学べる、学食のメニューが美味しい
- ・カッコいい作業服が着られる
- ・3年間クラスが一緒だから、楽しいことや苦しいことも一緒に乗り越えられること

加畑 遥也
鈴木 愛琉
谷川 翔琉
谷原 颯

岡本 汰樹
下野 翔矢
山本 和希
渡邊 望乃



3 高校(学科)を選ぶときに、どのようなことを参考に決めましたか？

【共通】

- ・学校のパンフレットなどの配付資料
- ・建築通信やホームページ
- ・自分が学びたいことかどうか(建築を学びたいか)
- ・先輩からの話、兄弟姉妹からの話
- ・将来の自分の夢のため

- ・学校が求めている生徒像に自分が当てはまっているか
- ・自分に合っているかどうか
- ・体験セミナーやオープンスクールに参加
- ・地域貢献やボランティアが多くできるから
- ・家族(親、兄、姉)が建築科出身



4 建築専門の授業で楽しい科目は？またその理由は？

【1年生】

- ・工業技術基礎・・・製図は難しいけれど、集中して見やすく綺麗な線を描くのが楽しいです
- ・工業情報数理・・・プログラミングだけでなく、関数電卓を使って計算して100点取れた時がうれしかったから
最初は電卓のボタンが多くて分からなかったけど、慣れると計算するのが楽しくなりました
- ・建築構造・・・建物の歴史、材料、建て方の種類、メリットなど建築についてたくさん学べるから

【2年生】

- ・実習・・・木工で木を切ったり、加工したりして、ものをつくることできるから
- ・建築技術基礎・・・教室のネームプレートを製作して、実際に完成したものが使われるから

服部 真歩
山崎 愛莉
山口 純怜
塩野 耕大

中嶋 一心
前野 亜依



5 高校生から中学3年生へ向けてのメッセージ！

【1年生】

- ・毎日コツコツ勉強することが1番身になります。1回に何時間よりも少しでも毎日続ける方が良いです
- ・学校選びには気をつけよう!「一人だから行かない」とか人に合わせるのはやめて、自分で決めよう!
- ・将来やりたいことがある人も建築科に入れば、さらに将来の幅が広がるのでぜひ入学してください
- ・色々な学校のオープンスクールなどに参加して、体験すると考えが変わるかもしれないから、参加することが大事

【2年生】

- ・建築科は楽しいし、みんな仲が良い。建築に興味ある人もない人も楽しい高校生活が送れます
- ・前期選抜では面接があるので、色んな人とコミュニケーションを取っておくことです

歌丸 柚希
川本 美輝
宮立 穩空
山本菜々美

中嶋 一心
吉田 楓



6 勉強(授業)以外で頑張っていることは何ですか？

【共通】

- ・資格取得や検定合格(そのための勉強)
- ・部活動、朝練

- ・生徒会
- ・ボランティア活動

- ・遠方からの通学、早起き

※生徒氏名は敬称を省略してあります。

体験セミナー(建築科体験学習)

8月1日(火)に体験セミナーを開催します。
建築科の体験セミナーで中学生がどんなことをするのか、
去年の参加者の感想とともに紹介します。

8月1日(火)
実施

体験学習ではこんなことをします！

鉛筆立て製作

スチレンボード(建築模型材料)を使って、鉛筆立てを製作します。
完成した鉛筆立ては、持って帰って使ってください。



CAD製図

CADを使って製図を描きます。「東屋」の建物を題材に、平面図と3Dパースを作成します。完成した図面は印刷し、ラミネート加工をして、オリジナルの下敷きとして使えます。



材料実験

鉄筋コンクリート造の建物に使用されている材料(鉄筋・コンクリート)の強度を計測します。
昨年度末に最新の機械になり、建築科の生徒以外で初めての披露！！



※上記の3つの内容のうち、体験授業①で1つを体験できます。
普通科を体験した人や建築の体験をもっとしたい人は、部活動体験の時間に建築科の体験ができます。
(体験授業①を受けた人は、他の内容を体験できます。)
※建築科1～3年生がスタッフとして、お手伝いします。

CADとは…
Computer Aided Design (支援設計)

設計支援ソフトのことで製図などを描くためのものです。
建築や機械、自動車の設計等で使用

高校や建築についての質問などを直接高校生の先輩に聞けるチャンス！！

感想 昨年度の体験セミナーに参加した中学生の感想

・宮津学舎は「勉強、勉強」という風なイメージでしたが、部活動にも力を入れていると分かって良かったです。

・思っていたよりも女子の先輩が多かった。模型も本格的だったから、私も作ってみたいと思いました。

・サンガスタジアムなど大きな現場の工事を見学してみたいです。もっと建築を詳しく知りたいです。

・周りは知らない人ばかりだけど、高校生の方が優しく接してくれて気持ちが楽でした。体験も説明も分かりやすく、興味が持てました。

※体験セミナーに参加を希望する人は、中学校の先生を通じて、参加申込をしてください。

1年生初めての検定試験で全員合格!! ～計算技術検定～

6月16日(金)、(公社)全国工業高等学校長協会が主催する「計算技術検定試験」を行いました。
計算技術検定試験は、関数電卓を用いて計算を行う検定試験です。各級3種目それぞれ70点以上で合格となります。

今回、1年生は3級を、2年生は2級を全員受検し、3年生は2級・1級の希望者が受検しました。1年生は高校生になって初めての検定試験で、緊張した面持ちで取り組んでいましたが、しっかり検定に向けて練習した成果が発揮され、クラス全員合格という快挙を成し遂げました。

また、難関の1級に挑戦した3年生1名は、2種目で満点となる合格で、建築科で約14年ぶりの合格者となりました。

7月には「初級CAD検定」、10月に「リスニング英語検定」「トレース技能検定」に挑戦します。
多くの資格・検定の受検機会を増やし、多くの生徒に資格取得へ向けて挑戦してほしいと思います。

